

青森県視覚障害者情報センター
令和3年度利用者アンケート集計結果

昨年実施したアンケートについて、送付数507名に対して117名の方からご回答いただきました（回答率23%）。ご協力いただいた皆様にお礼申し上げます。

集計結果は、以下のとおりです。ご意見・ご要望について、回答できるものは回答しています。皆様の貴重なご意見を、今後の情報センターの運営に反映していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

※（ ）内の数字は割合（%）

1 アンケート結果

問1 あなたについてお聞きします

（1）性別 ①男 67人（57.3）②女 50人（42.7）

（2）年齢

①19歳以下 1人（0.9）②20代 1人（0.9）

③30代 1人（0.9）④40代 5人（4.3）

⑤50代 15人（12.8）⑥60代 29人（24.8）

⑦70歳以上 65人（55.6）

（3）職業

①公務員 4人（3.5） ②会社員 7人（6.1）

③団体職員 3人（2.6）④自営 23人（20.2）

⑤パート・アルバイト 3人（2.6）⑥学生 1人（0.9）

⑦無職 73人（64）

(4) 居住地

- ①青森市 36人(31) ②青森市以外の市 59人(50.9)
③県内の町村 14人(12.1) ④県外 7人(6)

(5) 来館目的

- ①図書閲覧・貸出 6人(18.8) ②養成研修 1人(3.1)
③施設利用 2人(6.3) ④見学 3人(9.4)
⑤その他 20人(62.5)

問2 視覚障害者情報センターの管理・運営について

- ※5 大変満足 4 やや満足 3 普通 2 やや不満
1 大変不満

(1) 開館日や開館時間について

- 5 36人(38.3) 4 11人(11.7) 3 45人(47.9)
2 2人(2.1) 1 0人(0)

(2) センターの清潔さについて

- 5 12人(30) 4 7人(17.5) 3 21人(52.5)
2 0人(0) 1 0人(0)

(3) 職員・スタッフの対応について

- 5 62人(61.4) 4 9人(8.9) 3 26人(25.7)
2 4人(4) 1 0人(0)

(4) 点字・録音図書の提供について

- 5 51人(50) 4 15人(14.7) 3 35人(34.3)
2 1人(1) 1 0人(0)

(5) 青い森通信について

5 48人 (42.9) 4 20人 (17.9) 3 42人 (37.5)
2 2人 (1.8) 1 0人 (0)

(6) はまなすシリーズについて

5 37人 (38.5) 4 21人 (21.9) 3 35人 (36.5)
2 3人 (3.1) 1 0人 (0)

(7) 視覚障害者情報機器操作講習会について

5 12人 (32.4) 4 5人 (13.5) 3 18人 (48.6)
2 1人 (2.7) 1 1人 (2.7)

(8) ふれあいの集いについて

5 7人 (22.6) 4 4人 (12.9) 3 15人 (48.4)
2 2人 (6.5) 1 3人 (9.7)

(9) センター全体の満足度について

5 43人 (44.3) 4 24人 (24.7) 3 28人 (28.9)
2 2人 (2.1) 1 0人 (0)

2 ご意見・ご要望と回答

(1) 図書について

- ・若い人向けの本が少ないように思います。
- ・手芸や園芸など暮らしを楽しむ図書を増やしていただきたい
と思います。
- ・歌謡曲のCDがもっとあれば良いと思う。

【回答】センターでは月1回、図書の選定会議をひらき、選書しております。お寄せいただいたご希望は今後の選書の参考にさせていた

だきますので、今後とも、ご希望をお気軽にお寄せください。歌謡曲のCDについては、公共図書館でも所蔵しておりますので、そちらもご活用ください。当センターで貸出している録音図書は、ボランティアが肉声で読んだデイジー図書が中心ですが、歌謡曲も含め、クラシック、落語、オーディオブック（声優やナレーターが朗読した図書）CDなども所蔵しておりますので、お問い合わせください。

（２）青い森通信について

- 日常生活の工夫など利用者からの投稿コーナーを設けていただきたいと思います。
- 青い森通信、はまなすシリーズ等でボランティアの方々の情報がないのが気になります。ご協力をいただいているボランティアの方々との交流の場がと願っております。
- 青い森通信のなかに、奉仕員の方々のエピソードやメッセージを取り入れていただきたいと思います。みなさんのお声を聞きたいです。

【回答】ご要望ありがとうございます。どのような形でご要望を反映できるか、検討してまいります。

（３）はまなすシリーズについて

- 記事が少ない。
- 陸奥新報からも記事を取ったらもう少し地元の様子ができるのではと感じています。

【回答】はまなすシリーズはデイジー版とカセットテープ版で発行している音声情報です。情報量については、カセットテープ版の時間に制約があるため、現在の量で調整していきます。情報源は、東奥日報・朝日新聞・読売新聞ですが、今後、県内の新聞の発行状況をふま

え、別の新聞も加えるか検討してまいります。

(4) 視覚障害者情報機器操作講習会について

- 講習会の日が分からなかった。
- 回数を増やしてほしい。
- 早めに教えて欲しい（ヘルパーさんの関係上）
- iPhone やアンドロイドの講習の機会を設けていただきたいと思います。
- 弘前は平日なので行けなかった。
- 毎年なにかの形で継続いただければと願います。
- Web 配信も行ってはいかがでしょうか。
- できれば 1 対 1 で教えていただければありがたいのですが。
- デジタル化社会になっていくので情報機器講習会をたくさんやってほしい。
- プレクストークの使用法講習会を開いて欲しい。

【回答】この講習会は、プレクストークなどの情報機器の操作の講習を行い、利用者の方に、より便利に読書を楽しむ方法を習得していただき、あわせて図書利用者を増やすため、令和2年度より開催しております。これまで、むつ市、八戸市、弘前市で開催しました。次年度の開催地については、コロナの状況もふまえながら、検討してまいります。決まりましたら、青い森通信で早めにお知らせします。講習会は、個人の希望に合わせた、個別講習となっております。プレクストーク、iPhone など、持ってはいるが、使い方がわからずお困りの機器や体験したい機器がありましたら、希望にあわせて講習しますので、お気軽にお問い合わせください。

(5) ふれあいの集いについて

- 司会進行にきわめて準備不足わざとらしさがめだって、質問の引

き出し方などにもしっかりした対応をしてほしい。

- Web配信など行っていただきたいです。

【回答】ご不快な思いをさせてしまい、申し訳ございませんでした。今後は、事前にしっかり準備をし、スムーズな進行ができるよう努めてまいります。

※Web配信については、すぐに対応は難しいですが、努力していきたいと思えます。

(6) その他

- 9月予定だった講演会（スマホについて）がコロナの影響で中止となり残念でした。できれば講演の要旨を今後「青い森通信」に載せて欲しいです。

【回答】昨年9月、「目の見えない方、見えにくい方のための福祉展」において、「携帯電話のこれからとiPhoneについて」という講演を行う予定でしたが、コロナの感染状況をふまえ、福祉展の開催を中止といたしました。利用者の皆様にとって関心の高い内容と思えますので、今後、何らかの形で情報提供していきたいと思えます。

- 日本テレビ放映の「恋です！ヤンキー君と白状ガール」のドラマのように視覚障害者のことを晴眼者にわかってもらえるような記事（コラムでも良い）を発信すればいいと思う。

【回答】視覚障害者の理解啓発については、今後とも各関係機関と連携しながら、様々な形ですすめてまいります。

- ・センターのことを幅広くPRしていくために、Facebook や Twitter など、SNS を活用してはいかがでしょうか。利用者を増やすため、若い年齢層にもセンターのことを知ってもらうためには有効な手段ではないかと思えます。

【回答】当センターの利用登録者は、県内の視覚障害の身体障害者手帳所持者のおよそ14%にすぎません。市町村の広報誌や報道機関を活用して新規登録者の発掘に取り組んでいるところですが、なかなか増えないのが現状です。デジタル社会をふまえば、SNSの活用は非常に有効なPRの手段と考えます。今後とも機会をとらえながら皆様のご意見を参考にして、PRしてまいります。利用者の皆様のお知り合いに、未利用者がおられましたら、是非センターの紹介をお願いいたします。

- ・今後への期待になります。現在、眼科医会との連携ツールとして、青森県においてもスマートサイトが構築されていると思えますが、より一層の眼科医療との連携体制を前進させ、ピアサポーターとして出向いて相談するなど、中途視覚障害者への早期支援ができるようになることを期待します。

【回答】スマートサイトとは、視覚障害により生活に支障のある方が、各々の悩みに応じた適切な指導や訓練が受けられる相談先を紹介する簡単なリーフレットや関連したウェブサイトのことです。青森県内では、盲学校を中心に相談窓口を設置しております。今後「スマートサイト」を通じ、視覚障害者への支援が広がることを期待します。

3 テキストデイズ、合成音声デイズについて（利用しての感想）

- ・生協の宅配カタログのCDが合成音なので慣れている。

- ・初めの聞きなれない時は違和感がありましたが、スピードも速くして聞くので慣れてくると、どうって事ないです。
- ・完成が早いので良い。
- ・知ってはいるが、あまり利用したことがない。ボランティアが読んだものばかり利用していたので今後利用してみたい。
- ・やっぱり人の声の方が良い。聞きづらいです。
- ・大変助かります。自分で1ページずつ「よむべえ」などで読み取りすることを考えるとずっと楽です。
- ・あまり意識して利用したことがありません。何となく不自然だと思った時、それがテキストデイジーであったと気付くことがあります。

【回答】

テキストデイジー図書とは、本文のテキストに見出し等の文書構造や画像を付加したデイジー図書です。音声データは入っていませんが、音声デイジーと同じく見出しやページ単位で読みたい箇所に移動できる機能があり、デイジー再生機等の音声合成機能でテキストを読み上げさせて聴くことができます。(プレクストークでは、PTN2、PTN3、PTR3、PTP1、リンクポケットで聴くことができます)

音声デイジーに比べ、早くできる、一文字ずつ読み上げができる再生ソフトでは漢字・文字の確認ができるといったメリットがある一方、合成音声を読み上げますので、読み間違いがあるというデメリットがあります。(合成音声をいつも利用されている方の中には、多少の読み間違いには慣れているという方もいらっしゃいます。)

当センターでは、主にプライベートで希望のあった説明書や資料をテキストデイジーで製作し、希望者に提供しています。

ご興味のある方はお問い合わせください。